

## 転移性腎細胞がんのための治療薬「ニボルマブ」の早期承認を！！

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

日本国内において腎細胞がんが死因となり亡くなられた方は、国立がん研究センターがん対策情報センターが2013年に発表した資料によると、2010年の腎細胞がん死亡数は男性約2.7千人、女性約1.3千人と、貴省がその対策に力を注いでいる結核の死者数の2倍にも及んでいます。

腎細胞がんは放射線治療の効果が非常に低く、手術以外の治療法としては、化学療法に頼っているのが現状です。

現在は、貴省のご尽力もあり、6種類の薬が承認されているところではありますが、いずれも化学療法による寛解には程遠い状況で、1種類でも多くの分子標的薬の開発が、患者が1日でも長く生きられることに直結していません。

現在、国内メーカーが開発したニボルマブは、これまでの外国メーカーが開発したmTOR阻害薬系及びキナーゼ阻害薬系とは全く異なり、日本のメーカーが世界初の抗体薬品として開発し、大変注目度が高い薬となっています。

また、国内メーカーが開発しているという点でも安定供給、場合によっては、国内への優先供給などが期待でき、我々患者、患者家族及びそれらの関係者として大きな期待を寄せています。

ニボルマブにつきましては、世界から注目されていることもあり、貴省としても精力的に審査にあたられているとは思いますが、残された時間がわずかな患者も多く、1日でも早く腎細胞がんの治療薬として使えるよう、早期承認をお願いいたします。

**【腎細胞がん治療薬として「ニボルマブ」が一日も早く承認され保険適応になることを願ひここに署名いたします】**

お名前	ご住所（都道府県からお願いします）

※ご記入いただいた個人情報は、この署名活動以外で使用されることはありません。

※ご署名はボールペンかサインペンでお願いします。

年齢制限はありませんが日本在住の方に限ります。

ただし住所が同じ場合でも「〃」「々」「同上」などは無効となりますのでご注意ください。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-20-20

「そらまめの会」代表 三川 一夫 宛

※ 署名用紙は上記住所まで郵送して下さい。恐縮ですが、送料は各自負担でお願い致します。

※ 「そらまめの会」は腎細胞がん及び腎盂癌の患者の会です。

集約期日平成27年12月末日